



右：ワークプレイスプロデュース本部コンサルティング/プランニング2グループ長 岩崎太子郎氏
左：同グループ主任 下田洋輔氏
中：総務部 総務グループ 小口夕紀子氏



図書ラウンジIZUMIに併設されているBIMスタジオ。3次元モデリングを投影しながら設計を検討していくことができる

「作品主義」「品質経営」を掲げ、建築への並々ならぬこだわりを持つ竹中工務店。自社ビルも熱意とチャレンジ精神にあふれている。大阪本店と並ぶ重要な事業拠点である東京本店（江東区）は、2004年の竣工以来2度の改修を重ね、2018年に終了した今回の改修では、「新たな価値創造と生産性向上」を目指し、ビルから“ひと”へフォーカスした。

「執務環境改善や意識高揚を図るだけでなく、業務プロセス変革やダイバーシティ推進も狙いです。東京本店はとくにオープンノベーションによる新しい価値創造を目指しました」と、ワークプレイスプロデュース本部 岩崎太子郎氏は語る。

革新的な取り組みが評価され、2019年度日経ニューオフィス賞を受賞。なかでも、目を引くのは、緑に囲まれたワークラウンジ「KOMOREBI」（表紙）と、知的創造性を引き出す図書ラウンジ「IZUMI」。いずれも、心のリラックスだけでなく、業務への集中とコミュニケーション活性化の効果が表れている。社員の評判も上々だ。

改修時に同社が心がけたことは、働く人の声を聴きながらオフィスをつくることだった。「71回ワークショップを開催し、延べ3500人も社員が参加してさまざまな意見交換が行われました。活動を通じてオフィスへの愛着が高まっています」と同本部の下田洋輔氏は振り返る。

みんなの理想のオフィスを目指すからこそ、使用開始後も改善は絶え間なく続く。「チューニング活動」と呼び、その一環として行ったのが「写真日記」。社員がオフィスで気づいたモノ・コトを写真に撮り、コメントを添え一覧にしてワークショップを開催。それを見たワークショップ参加者が、共感する写真に付箋を貼って感想を残すことで、多くの社員が問題を共有する仕掛けになっている。

「言葉だけでなく共感を得にくいことも、写真で見ると『これは私も思っていた』と言ってくれます」（総務部 小口夕紀子氏）。カルチュラル・プローブ（文化推測）というデザイン思考の手法だが、従来のアンケート調査よりもはるかに改善効果があるという。品質向上とともに人を思いやる。まさに「建築」から「健築®」*へ——。ハードだけでなくソフト面の工夫と先進性が光るオフィスづくりである。

*健築®とは、竹中工務店が行っている、これまでの建築づくりやまちづくりの枠を超えて、誰もが健やかで、心豊かに生きていける場所を築いていく活動。

KAIKAを支援する！ JMAの事業活動のご紹介

人材育成サポートウェブ

新規 OPEN

— 組織開発・ダイバーシティ —

急激な変化に対応していくためには、「チーム力向上」「エンゲージメント向上」「働き方改革」といった組織課題を解決することが非常に重要です。

JMAは、組織開発やダイバーシティに関する課題に対応するためにお役立ていただける研修を多数ご用意しています。

組織デザイン 組織設計	組織風土の改革 コミュニケーション活性化	エンゲージメント向上 モチベーション向上
チーム力向上 生産性向上	ダイバーシティ推進	女性活躍推進
セルフマネジメント レジリエンス	詳しくはこちら 人材育成サポートウェブ 組織開発	



JMAのオンライン研修

一方通行型ではなく、ワークやディスカッションが豊富な、「双方向型プログラム」が特徴です。また、JMA公開研修ならではの質の高い他社交流をご体感いただけます。多様化する経営課題に対応する“今だからこそ必要なテーマ”をはじめ、注目のオンライン研修を紹介しています。

ラインナップ(例)

- 変化が激しく複雑な“いま”求められる ▶ 「システム思考」の原則とツール活用研修
- 困難な状況にシなやかに対処する ▶ レジリエンス入門セミナー
- 新しい働き方に対応した制度を考える ▶ 在宅勤務の労務管理課題解決のための勉強会

その他、「リモート時のマネジメント」「OJT」等のテーマを多数掲載していますのでぜひご覧ください。

JMA 人材育成サポートウェブ

